

会議の名称	松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第4回会議
開催日時	2016年2月23日(火) 午後 2時00分から 午後 3時30分まで
開催場所	松伏町役場本庁舎3階 第2委員会室
出席者	(審議会委員) 松伏町商工会会長：小島 朗 埼玉県東部地域振興センター所長：佐藤 正信 大正大学地域連携推進部部長：佐藤 徹明 埼玉りそな銀行越谷支店支店長：鈴木 正広 越谷公共職業安定所所長：飯野 哲義 埼玉新聞社経営企画室長：高梨 肇(代理出席) 公募委員：田村 笑 公募委員：古屋 由美 吉川青年会議所：程田 幸秀 (松伏町) 町長：會田 重雄、企画財政課長：立沢 昌秀 新市街地整備課長：齋藤 裕之、企画財政課主幹：目黒 健二 企画財政課主任：末次 雄一郎、企画財政課主事：栗原 嘉顕 (策定支援業者：昭和(株) 河村 健人、樋口 智哉)
欠席者	埼玉新聞社取締役クロスメディア局長：宮下 達也 松伏中学校PTA会長：石原 みどり
議題	1 パブリックコメントの実施結果について 2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)実施事業の事業評価について 3 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の答申案について 4 その他
	答 申
配付資料	・次第 ・松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に対するご意見の内容と回答 資料1 ・松伏町人口ビジョン(案) 資料2 ・松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 資料3 ・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)実施事業評価シート 資料4 ・答申(案) 資料5

発言者	発言内容・決定事項等
議題1 パブリックコメントの実施結果について	
事務局	<p>(資料1に基づき、パブリックコメントの実施結果について事務局から説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月25日から1月25日までパブリックコメントを受け付け、1名から4点の提案があった。 <p>提案①：政府機関誘致を強力に進める。</p> <p>(例 ○○研究機構、△△研修所等の政府機関)</p> <p>現在、松伏町では鉄道誘致活動をしているが、果たして住宅街や工業団地等の造成だけで実現可能なのか。つくばエクスプレス路線を例にとると一目瞭然と思う。</p> <p>提案②：松伏町々営の進学塾を創る。町内高校(松伏高校)を利用し、教育で有名になることを目指してはどうか。もし、一人でも「東大」や「京大」などの有名大学に合格すれば、有名になる。予算も少なく、短期間で実現でき、かなりの効果があると思う。</p> <p>提案③：イベント企画は簡単に思いつくが、企画力や資金力次第で先細りになる。我が松伏町は、プロゴルファーの石川遼選手の大活躍で一躍日本全国に知れ渡ったが、知名度を生かし切れなかった。イベントの単発企画では元の本阿弥になる。</p> <p>提案④：定期的に議事録を公表して欲しい。(4ヶ月程度毎など)</p> <p>「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案).pdf」を読んだが、長文すぎて読むのにも努力が必要である。せめて、2ページ程度にまとめられないものか。</p> <p>また、内容はまるでコンサルタントが制作した様に感じるが、「有識者+町民代表2人」の議論の結果なのか疑問に思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案ごとの町の考え方は次の通り。 <p>【提案①に対する考え方】</p> <p>本総合戦略において、「土地利用構想における重点施策」(P24~P25)として、「新市街地整備プロジェクト」を位置づけ、高速鉄道東京8号線の松伏新駅を想定し、産業系や沿道サービス系の土地利用の推進に向けた検討を進めることとしている。</p> <p>ご提案の政府機関の誘致については、新市街地整備の企業誘致を進める中で、その可能性を検討していく。</p> <p>また、地下鉄8号線の誘致活動については、引き続き近隣市町や関係団体と連携して、地元住民への啓発活動や関係機関への要望活動などの取り組みを進めていく。</p> <p>【提案②に対する考え方】</p> <p>本総合戦略において、松伏町の特色を活かした教育環境の充実(P17)として、「松伏っ子わくわく体験教室実施事業」や「ICT教育推進事業」</p>

	<p>などの事業を盛り込み、大学生などとの連携により、教育環境における多角的な取組みを推進することとしていることから、ご提案の町営の進学塾のように、進学に特化した事業を実施する予定はない。</p> <p>【提案③に対する考え方】</p> <p>本総合戦略においても、「基本目標2 新たにひとを呼び込む魅力を発信する」(P13)として、「本町の主要産業の一つである農業を活かして、町外の一とを惹きつける「ウリ」を増やすことと、将来そうした魅力を発信する拠点の整備に向けて検討を進めることで、魅力あるまちづくりへの第一歩としていく」ことなどを位置づけている。</p> <p>ご提案のとおり、単発的なイベントにとどまらず、町の持続的な活性化と交流人口の増加につながるよう、イベントの定期開催や複合的な事業の展開について検討を進めていく。</p> <p>【提案④に対する考え方】</p> <p>審議会の議事録については、会議終了後随時ホームページ上で公開していく。また、本総合戦略の概要版についても3月末にホームページ上で公開を予定している。</p> <p>「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、外部有識者及び町民によって組織された「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」において、人口減少社会に対応し町の創生を図ることができるよう、本町の現状と課題、将来人口推計や町民意識などを踏まえ慎重に審議を重ね、そうした審議会の意見を反映させて町が策定してきた。</p> <p>本総合戦略の策定後においても、事業効果の検証から内容の見直しを含め、継続的に審議会に意見を求めていくことになる。</p> <p>戦略の策定から事業の実施及び見直しにいたるまで、健全な行財政運営を維持しつつ、より効果的で実効性のある取り組み内容となるよう、町内外の関係各機関や町民など多様な主体と連携し、町の創生を図っていく。</p> <p>・提案内容については、すべて策定中の素案の本文で読み込められる。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの提案とそれに対する町の考え方が回答案として示された。 ・回答案に対し意見はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この質問・意見の内容に関しては、今回の答申の中に含まれている部分も多数ある。 ・やはり進学塾等に特化するのなかなか難しいところもあるかと思う。 ・回答の公表については今後事務局で対応をしていただきたい。 ・事務局案の回答内容でよいか。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・回答内容について承認。

議題2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施事業の事業評価について	
事務局	<p>（資料4に基づき、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施事業の事業評価について説明。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）とは、地方版総合戦略の円滑な策定と関連する政策の実施を支援することを目的に創設された交付金である。 ・本町でもこの交付金を利用して、平成27年度に7つの事業を実施した。 ・交付金の制度要綱では、実施事業の効果検証に必要な体制を整備した上で、重要業績評価指標（KPI）を検証することが規定されており、第1回の審議会において総合戦略の策定と合わせて、事業の効果検証を諮っていただいている。 ・本年度実施事業の実績を報告し、本内容をもって、審議会の事業評価としてよいか、お諮りいただきたい。 ・資料4には、各事業について事業名、主な事業内容、事業始期と終期、本事業のKPI、本事業の実績、達成率と本事業に係る総合評価とその理由を掲載している。 ・本事業に係る総合評価とその理由については、事業実施結果を踏まえて、改善点等を事務局案として記載した。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・北部拠点活性化事業として先日行われた「松伏町冬フェスティバル」では、緑の丘公園にAKB48が来たということで、随分若い男性ファンの方が多かったように思う。町外の方が多く来ていたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・北は北海道から南は鹿児島まで遠方の方からも申し込みをいただいた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・人を寄せるイベントというのは内容によっては相当効果があるのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施事業評価シートのフォーマットは決まっているものなのか、それとも町で作成したものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・町で作成したもので、特にフォーマットが決まったものではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は地方創生先行型で国から補助金を交付されており、これからは自立して町が一つ一つの事業を実施していかなければならない、ということがある。 ・事業の背景となる地域課題、目的、予算の項目を入れていただきたい。費用対効果を見る面でも、どれぐらいの予算を使ったのか、という項目はぜひ入れていただきたい。 ・一つ一つの事業に関しても、事業内容は書いてあるが、何を目的にして事業を実施したのか、あるいはこの事業を企画するにあたっての地域課題や事業の背景等、一連の流れがあると、事業効果も検証しやすい。 ・KPIについても目的に沿った基準を設定していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では国から統一されたフォーマットが示されていないので、資料4のような形で出ささせていただいた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな課題への対応なのか、またその課題に対応できたのか」という点については、次年度以降も同じようなシートを作成する予定であり、ご提案いただいた内容などを盛り込んでいきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートについては、地域の皆様から見ても、「いつ、どこで、何をしたのか」というのが分かりやすいようにしていただきたい。 ・先行型の事業を見ていくと、「こういう事業が効果的なのではないか」ということが少し見えてきたと思う。外部の人達を町内に呼ぶという点については、特に精査して、今後のイベントや事業に反映していくとよいのではないかと目的がはっきりすると結果もはっきりわかる。 ・評価シートの最後に出ているプレミアム商品券について、事業にかかわった者として申し上げると、2億3千5百万円の商品券の販売を行ったが、短期間でこの金額はすぐ売り切れた。この経済効果は非常に高かったのではないかと思う。 ・今後の事業評価にあたっては委員からの意見を踏まえて、効果のある事業の実施をお願いしたい。
議題3 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	
事務局	<p>(資料5に基づき、松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について事務局から説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2人口ビジョン(案)、資料3総合戦略(案)の内容については第3回審議会で確認をいただいているところである。 ・上段には第1回審議会で諮問した松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び指標の効果検証についての答申部分である。 ・下段には、これまで審議した総合戦略本文の要点を抽出したものを、今後総合戦略を推進する上での留意事項として示している。 ・1に、今後5か年の基本理念、2に、4つの基本目標、3に、土地利用構想に関する重点施策、4に、今後の事業実施における方針を示している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この案で町長に答申する、ということによいか。
一同	承認
議題4 その他	
事務局	<p>(地方創生加速化交付金について事務局から説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回ご審議いただいた総合戦略のうち、土地利用構想に関する重点施策として掲げている「新市街地整備プロジェクト」及び「まつぶし北部活性化プロジェクト」に関連する事業について、国に申請を出している。 ・地方創生加速化交付金については国の補正予算が先般成立し、取り急ぎこの総合戦略に基づいて、申請した。 ・総合戦略P.26に記載されている事業を来年度展開していきたいと思っているが、その重要な財源となる交付金申請の話があったため、新市街地と北部拠点という2つの事業に関して申請している。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の松伏町の地域性を見ていると、東埼玉道路と浦和野田線の交差する「新市街地区域」が大きく変わっていくのであろうし、注目の地点になっていく気がする。 ・その中で、交通アクセスの問題としても道の駅やバス網の整備もあわせて進める必要があると以前から思っている。新市街地を中心として東西南北の方面へ行ける交通アクセスを作るということも、バス便の発達等までしっかり方向性を出していくことが大切だろうと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価シートに、企業誘致に関する説明件数として2社と出ているが、公表できるのであれば、町外もしくはこの近辺の企業なのか、もしくは大企業に声かけしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業進出に関する相談を受けるなかで、適宜情報提供していく。 ・企業名は話ができる状況になった場合には情報提供していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の方向性として、方向やビジョンはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業に対して求める点としては、雇用を確保していただくということが大きなポイントである。 ・また松伏町との連携や地域に貢献していただくことも必要である。まずは地元企業を含め、今ある企業を守っていくということも重要。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・北部活性化プロジェクトとあるが、なぜ今北部活性化なのか。北部地域は、アクセスが悪いという課題がアンケートの上位もしくは1位にくるような地域である中で、なぜ今、老人福祉センター周辺の活性化に取り組んでいるのか、理念や中身を教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・北部活性化プロジェクトは今回の総合戦略の一つのメインとして位置づけをしているが、この前提として第5次総合振興計画にも同様の事業が位置づけられている。 ・人口の動向を見ると、北部の方では人口の減る割合が早く、その反動で高齢者層の人口の高齢化率が高まるという課題が発生している。そういった状況の中で、北部を元気づけるにはどうしたらいいか、という議論が起こった。 ・昨今の財政状況や国の考え方からすると、公共施設を新築してそこを拠点にするという考えはふさわしくない。 ・その中で町内を見渡すと、どちらかというと南部の方に行政機能が集まっているので、北部の人口減少に歯止めをかけつつ、北部を元気づけるには既存の老人福祉センターの周辺を活用しようではないか、という考え方である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で議題はすべて終了とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この後、町長への答申をしていただく。
	町長登壇
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月18日付け企第261号で諮問された、「松伏町まち・ひと・

(答申)	<p>しごと創生総合戦略」について、人口減少社会に対応し町の創生を図ることができるよう、本町の現状と課題、将来人口推計や町民意識などを踏まえ、当審議会でも慎重に審議を重ねてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当審議会は、今回提出された「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び今年度に先行実施した事業の指標と効果について、その内容を妥当なものとして認め、ここに答申する。 ・総合戦略の推進にあたっては、実施する施策の効果を検証し、必要に応じて見直しを図るといったプロセスを基本として、下記事項に十分留意し努めるよう要望する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 「交流人口を増やす魅力づくりと町民満足度の向上」を今後5か年の基本理念として、各施策の推進に努めること。 2 基本理念に基づき、総合戦略に掲げた基本目標である、 <ul style="list-style-type: none"> ・「魅力ある働く場を確保する」 ・「新たにひとを呼び込む魅力を発信する」 ・「自然環境の良さを活かして、子育てや暮らしの環境を向上させる」 ・「町民ニーズに合った、生活利便性が向上するまちをつくる」 の推進に努めること。 3 新市街地整備プロジェクト及びまつぶし北部活性化プロジェクトを、土地利用構想に関する重点施策として位置づけ推進すること。 4 事業の計画及び実施にあたっては、健全な行財政運営を維持しつつ、より効果的で実効性のある取り組み内容となるよう、町内外の関係各機関や町民など多様な主体と連携し、協働関係の構築に努めること。
町長 (あいさつ)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日答申いただいた「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「新市街地整備プロジェクト」と「まつぶし北部活性化プロジェクト」の2つはいずれも町の将来人口減少対策には大変有効であると考えて掲げたもの。 ・人口ビジョンでも明らかにされた課題として、町には交流人口が少ないということがあり、これを踏まえて、埼玉新聞社や大正大学等の協力をいただいて、「まつぶし町冬フェスティバル」を開催し、北は北海道から南は九州まで、総勢1,800人に参加していただいた。 ・AKB48をゲストに招いたウォークラリーをはじめ、サッカー教室や骨盤体操教室等、企画を多数催した。ご協力をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。 ・松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、松伏町第5次総合振興計画と車の両輪のような位置づけとして、今後の松伏町の様々な施策の運営にあたっていきたい。 ・審議会委員の皆様には、次年度以降も松伏町の地方創生事業の進捗をご審議いただくことから、今後も引き続きご協力をいただきたいと思います。
事務局	(平成28年2月13日北部拠点活性化事業イベントの報告)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで、地方創生の取り組みの一つとして、多くの方に町の魅力を知っていただくため、2月13日に北部地区を中心に開催した「まつぶし冬フェス」の報告をさせていただく。 ・イベント開催の背景として、人口減少対策の有効手段の一つとして、まちを多くの方に知っていただき、定住先として選んでもらうには、交流人口の増が必要不可欠であるということが人口ビジョンで検証されてきた。 ・当日は全国各地から約1,800人がイベントに参加し、多くの方に町を知っていただくことができた。 ・当日は、まつぶし町めぐりウォークラリー、子ども科学実験教室、骨盤体操ピルビスワーク教室を開催し、多世代交流の場として非常に賑わった。 ・広報周知を一括して業務委託させていただいた、県内初の取り組みであり、委託先の埼玉新聞社の記事として、1月7日から2月11日までの毎週木曜日、全6回にわたって、『知ってまつぶし』と題して、松伏町の自然、史跡、人材輩出や地方創生の取り組みを掲載したほか、まつぶし冬フェスの広告を17回、イベント開催結果等を3回掲載していただいた。 ・1月には近隣市町に配達される新聞折込みに、地方創生事業の一環として交流人口増を目的とすることを記載したイベント募集チラシを2回に分け、延べ8万部程配布したほか、ラジオでもイベントの告知を行った。 ・こうした取り組みの結果、青森県から山口県まで全国13紙が松伏町の取り組みを掲載し、全国に松伏町的情報を発信することができた。 ・当日参加者が撮影した動画、写真などが、AKB48の公式ホームページをはじめ、動画配信サイトや、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）などを通じて広く発信されており、ソーシャルネットワーキングを活用して松伏町のことを宣伝していただくという結果につながった。 ・多くの協賛企業やボランティアと連携してイベントを実施できたことに大変感謝している。 ・ここにいる委員からもご協力をいただくことができた。感想等あればご発言願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この企画は公共発信ということで、電通と埼玉新聞社と共同で企画を練って、松伏町で主催をしていただいた。 ・開催後、電通の全国紙の代表を集めた会議等でも報告され、全国に先駆けての実施ということでかなり注目された。 ・全国に先駆けた、地方創生の一環として官民連携開催ということで、大変評価の高いイベントであった。 ・町民をはじめとする多くのお客様や普段なかなか来ることのない町外の方の来場があり、メリットの高い催しになったのでは。 ・埼玉新聞では、2月25日の紙面に当日の特集を掲載する予定で進めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大正大学からは、町内で活動している野球部から40名がイベントに参加。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで町との接点がなかったことを反省していて、何かきっかけがあればと思っていたところ、今回イベントにお声掛けをいただいた。 ・当日参加した野球部の学生は町民をはじめとする来場者と会話するにつれ、学生たちの笑顔の量が増えていったと感じている。学生が寮に戻ってからも、大変楽しかったという声があがった。 ・学生はなかなかこういうきっかけがないので、こういったきっかけを作りながらまた町の中に入り、協力させていただきたい。 ・野球部がシーズン中の場合は、都内の学部生からも参加させていただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川青年会議所からは、フォト・コンテストの写真のパネル展示を、町内外の方々に休憩がてらに眺めていただきたいという思いで実施した。 ・当日は普段見受けられないような方が多く集まっており、町の活性化には繋がったのではないかな。 ・今後は、子育て世代あるいは就活間際の方々の流入という点を鑑み、ある程度イベントの選定方法も変わってくるのではと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・報告は以上のようなものである。今後の予定を事務局から説明して、本日の会議を閉会とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日答申をいただいた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、今後製本したうえで、町民の皆様幅広く公表をさせていただく予定である。 ・委員の皆様には多用の中、1年にわたり総合戦略のご審議をいただき感謝申し上げます。 ・次年度以降の会議日程等が定まり次第、案内する。 <p style="text-align: center;">(閉会)</p>